

三月の衛生 醫學博士 齋藤文雄

□お子さんを育てます時報酬の事を考へるお母さんは一人もありません。お子さんそれを認識する、しない、そんな事はどうでも良い事なのです。兎に角吾

向きにお子さんを育てませう。大東亞を背負ひ立つ勇士の母ですもの、その位の覺悟は當り前の事と存じますが一言申し添へました。

がお母さんの本當の氣持でせう。一方お子さんは、そんなお母さんの苦勞等少しも知らず、獨りで大きくなつた様な積りで育つてゆきます。然し、やがてはいつの日かに立派に育つたわが身を顧みて、今更の様に誰がこんなに怪我一つ無しに育て、呉れたのか、に思ひ當つて吃驚いたします。そうしてその裡にかくれた尊

□お天氣が次第に崩れ寒さの中にも春らしい萌しがそちこち覗いてゐます。斯う云ふ季節は病氣が多くなります。一しきり感冒が暴れ廻ります。冬の寒い間は風邪もひかずに元氣だつたお子さんが、この頃になつて肺炎になつたりいたします。着物の調節に氣を配りませう。埃りの多い風の日をよく含嗽と「マスク」をいたませう。

親の愛の深さに打たれる日が参ります。親は何も言舉げしない丈けにお子さんは底知れぬ愛の深さを考へます。この頃は育児と云ふ事も中々六ヶ敷くなつて参りましたが言舉げしてはいけません。ひた

□人間の身體に「ビタミン」が一番少ない時、それは唯今であります。ビタミンAやDも冬になる前には相當貯へもありましたが冬の間に使ひ果して今は少ない時であります。ビタミンBもそろそろ暖かになつて参りますと冬の間より餘計あ

りませんと間に合ひません。密柑も萎びてしまひ、林檎もかさかさでビタミンCが非常に不足いたします。ビタミンは機械の油の様なものですから、之が無いと機械のすべりがうまく行きません。病氣をいたしまして機械が餘計動かなければならぬ時、そう云ふ時には觀面に應へて参ります。お子さんに肝油が必要なのは唯今こそであります。こゝ二三ヶ月は是非共差し上げて頂き度いものです。

□春先は眼病が多くなります。朝起きました時に眼脂が出てゐるお子さん、眼が充血してゐるお子さん、眩しがつたり、痒ゆがつたりするお子さんは早く眼の手當をして頂かなければなりません。霜焼けが崩れるのもこの頃です。悪い細菌が入らない様に氣をつけてやつて頂き度いものです。

□今月は入學やら何やらでお子さんも相當氣を使ひます。行事がすつかり濟みましたら御褒美を差上げて頂きませう。何を差上げませうか。日光、外氣、風光、つまり旅に出よ、遠足に連れて行つて戴き度いと云ふ事でありませう。